



【学校教育目標】

心豊かにたくましく生きる子供の育成

<めざす児童像>

敬愛 互いの「よさ」を認め、思いやりの心をもつ子

剛健 すすんで心身をきたえ、明るく希望に燃える子

修学 自ら学び考え、全力を尽くす子



本校では、「人にやさしい学校にしよう」を合言葉に、年間を通して「思いやりや助け合いの心をもって行動できる子」の育成に力を入れ、いじめ防止につながる様々な取り組みを行っています。その主な取り組みを紹介します。

- 学級活動でのエンカウンターの実施や帰りの会でのお互いを認め合う場の設定などを通じたよりよい学級集団づくり
- 全校でのソーシャルスキルトレーニング（他人とよい関係を築き、社会に適応するために必要な力を育てる教育）やピアサポート活動（仲間を思いやり支える実践活動）などを取り入れたよりよい人間関係づくり

○6年生を中心とした異学年グループ活動「安居っ子タイム」による思いやりや協力の気持ちの醸成

○学校の教育活動全体を通じた、人権教育、道徳教育の充実や読書活動、体験活動の推進

○いじめアンケート及び個人面談によるいじめの早期発見と組織的な対応

12月には、全学級でいじめについて話し合い「いじめは決して許さない」という姿勢を子どもたち一人一人がもって、「いじめ撲滅宣言」をし、教室に掲示しました。

また、1月には全校 SSE タイムで「あたたかい言葉かけ」のスキルトレーニングを行いました。併せて、保健委員会でも「ふわふわ言葉」について掲示し、望ましい言語環境への意識づけを図っています。さらに、先日は6年生が全校児童に向けて「ふわふわ言葉」がいっぱいの学校にしようと呼びかけました。自分たちの学校を自分たちでよくしていこうとする姿勢が見られ、うれしく思います。

今後も、児童が主体的に参加・活躍できるような授業づくりや集団づくりを行っていくとともに、保護者の方とも情報共有しながら、いじめのないお互いを認め合えるあたたかい学校をめざしていきたいと考えています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



保健委員会による「ふわふわ言葉」の掲示



感謝の思いを伝え合う「きらりの木」

福祉についての学習(4年生)



4年生は総合的な学習の時間に福祉について学習をしています。これまでも高雄苑の職員の方をゲストティーチャーに車椅子体験をしたり障がい者スポーツ出前授業でフライングディスクや車椅子バスケットボールの体験をしたりしてきました。

2月13日には、福井特別支援学校の片岡勇登氏を講師にお迎えし、障がいのある方の生活や思いをお話していただき、福祉について考えました。子どもたちはこれまで学習してきた疑問に思ったことなどを積極的に質問し、障がい者理解を深めていきました。障がいのあるなしに関わらずだれにでも分け隔てなく思いやりをもって接することができるようになってほしいと思います。



わくわく交流デー

2月6日に4月に入学してくる新1年生を迎えて、わくわく交流デーがありました。はじめに1年生が学校紹介を行いました。次の「おべんきょうタイム」では、1年生がサポートしながらタブレットを使ったり名前を書いたりしました。そして、「ふれあいタイム」では、一緒に歌を歌ったり学校クイズをしたりして楽しみました。1年生はそれぞれ自分の役目をしっかり果たし、お兄さんお姉さんとしてやさしく声かけをしたり、お世話をしたりしていました。



昔遊び会(1年生)

2月15日に、子どもたちのお家の方にご協力いただき、昔遊びを教えていただきました。子どもたちはコマ・けん玉・だるま落とし・おはじき・お手玉・あやとりの6種類の昔遊びにチャレンジしました。ご協力くださった皆様ありがとうございました。



【お願い】

福井市の小学校では、子どもたちの健全育成のため、量販店や繁華街（駅前など）、映画館、カラオケ、ボウリング場、ゲームセンター、ゲームコーナー、校区外には子どもたちだけでは行かないことになっています。子どもたちだけで上記の場所に行ってトラブルに巻き込まれたという事案もあります。子どもたちの安全のため、上記の場所では必ず保護者の方が一緒にいるようにしてください。また、お金やものの貸し借りは金銭トラブルのもとになりますので、お金を持って遊びにいかないようお家の方でも声かけをよろしくお願いします。



「学校評価」ありがとうございました

12月には学校教育に関する保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。同時に児童や教職員も学校評価を行いました。結果の詳細については、後日報告いたしますが、児童アンケートでは、90%以上の児童が「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業がよくわかる」と答えており大変嬉しく思っております。一方、「自分によいところがあると思う」「授業に主体的に取り組んでいる」と答えた児童が80%台で、今後の課題も見えてきました。また、保護者アンケートでは、「我が子に読書をすすめている」が50%台「学校の便りやホームページ等によく読むようにしている」が70%台という結果でした。

今回の結果を踏まえて今年度の考察を行い、次年度に向けての改善策・取組の計画を立て、よりよい安居小学校をつかっていきたいと思っています。具体的な取組内容につきましては、後日文書にてお知らせします。



この学校だよりは、学校のHP (<http://www.fukui-city.ed.jp/ago-e/>) でもご覧になれます。

「児童の声・保護者の声・地域の声」ご意見や感想をお知らせください。学校HPからのメールでも構いません。

年 名前

(無記名でも結構です)